

<第 4183 回>

目的地：御嶽・小金ヶ嶽（丹波）

担当者：鹿田裕子

実施日：2021 年 10 月 16 日（土）

形式：日帰りハイキング

費用：¥4,020,-

参加者：6 名 柴崎美登里・島崎美奈子・中村博一・福西加代子・辻井清子・鹿田裕子

天気：曇り

行程：

篠山口駅（9：10）⇒下立町（9：26）⇒日本交通乗合タクシー篠山営業所（10：00）⇒火打岩（10：30）⇒鳥居堂跡（11：12）⇒（12：15）御嶽山頂（昼食）（12：45）⇒大たわ（13：20）⇒小金ヶ嶽（14：25）⇒福泉寺跡（15：10）⇒小金口（16：05）⇒乗合タクシー（16：35）⇒二階町（16：50）⇒（17：40）篠山口駅 [解散]

感想：

10 月の中旬、天気予報は前日から降水確率が高く、怪しげな曇天でしたが、なんとか行けそうなので山に向かいました。

篠山口駅からバスを乗り継ぎ、乗合タクシーの営業所まで移動しました。町は近くの春日神社の秋祭りで予想外の人出でにぎわっていました。タクシーにて御嶽の登山口にあたる火打岩まで移動し、獣よけゲートを抜けて、山道に入りました。すぐに急登が始まり、蒸し暑さもあって疲労しましたが、予定どおりのペースで登れました。御嶽は丹波修験道の拠点の山で、室町時代には大岳寺など大きな寺があったそうですが、吉野の大峰山との争いに敗れて焼き払われたのだそうです。

ゆるやかな道を経て、またも急な岩場を登りましたが、無事に山頂に到達。別のグループにも会いました。曇っていて展望はあまりなく、山名のプレートもありません。ただし、座るのにぴったりな大きな台座があり、のんびりと昼食が取れました。

御嶽からの下りは急降下と長い階段が続きましたが、次の小金ヶ嶽の登山口にあたる大たわに降りました。この登山口には大人向けのアスレチック施設があり、その間を縫って苔の森を経て徐々に高度を上げていきます。すでに御嶽で足が疲れているので、なかなかペースが上がりませんが、尾根を越えていくと、突然鋭い岩場が出現し、全員が俄然やる気になりました。崖っぷちにある切り立った岩を超え、鎖場を次々に登っていくと、山頂に到達しました。こちらからは御嶽が良く見え、立派な山名のプレートも立っていました。

これで縦走を半ば終わった気分になっていたのですが、この山は低山ながら一筋縄ではいかない山でした。下山道は谷につっこみかけたり、岩の隙間を乗り越えたり、ただの斜面になったり、急に渡渉を繰り返したりと YAMAP とテープに頼って歩くしかない道でしたが、皆で頑張って進みました。

それでも予定通り、下山口に到達しました。乗合タクシーで二階町の商店街まで送ってもらい、旬の枝豆や栗などお買い物も楽しみ、最後は篠山口で解散しました。

今回も行き当たりばったりの山行となり、皆様に色々と助けていただきました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。